



# 一般質問

第3回定例会（9月9日・9月12日）

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

**答弁** ▼ 山下川沿線の歩道整備のた

**質問** ▼ 市道山下川沿線の道路改良整備について問う。

**答弁** ▼ 今後、返礼品制度を取り入れるべく、他の自治体の状況を比較検証し、より効果的な制度の導入に向け調査研究をしている。

**質問** ▼ 伊達市における「ふるさと納税」の返礼品制度を取り入れた施策について問う。

**答弁** ▼ サービス事業者の運営基準及びサービス単価の設定、対象となるサービス利用者への説明、市民への周知に取組む。

**質問** ▼ 介護要支援者に対する介護予防給付を市独自の「地域支援事業」に移行する事について問う。

市民クラブ 山田 勇



め河川管理者の北海道と協議をしており、現在、歩道の高さや道路構造などを含めた、最終条件の整理を協議して、早期整備を目指している。



社会福祉協議会に併設されている  
地域包括支援センター

**質問**▼中等教育学校に対しての考えについて問う。

**答弁**▼一つの学校として6年間の中高一貫教育をすることから、中等教育学校における教育効果は非常に高いと考えている。

**質問**▼市立の中等教育学校の開設を目指し、有識者などによる会議で調査研究を進めるべきかを問う。

**答弁**▼一人ひとりの個性や創造性を重視した教育や、多様な進路選択への対応が可能になると考えることから魅力があるものであり、市民からのニーズや課題の整理をして、研究を進めたい。

**質問**▼農業振興の長期展望について問う。



北海道伊達高等学校

**答弁**▼国営緊急農地再編事業の各種調査や要請活動を行うなど、期成会や開発局と連携を図る。

**質問**▼成長戦略の重点課題である農業振興策について、労働者不足は伊達市でも進行していると考えが、打開策について問う。

**答弁**▼3市3町でなる日本版CCRCの中で若い新規就農者を獲得する施策について検討していきたい。



**質問**▼地域経済を問う。

**答弁**▼少子高齢化と人口減少の進展、それに伴う経済活動の停滞や担い手不足で管内中小企業の売上げの停滞・減少、事業継承は全国の地方における共通の課題。

それを踏まえ、地方創生ビジョンの中で取組を進めており、次期総合計画でも地域資源の発掘活用と地域ブランド構築、担い手確保等について企業や関係団体と協議しながら反映していきたい。

**質問**▼水害対策を問う。

**答弁**▼過去の河川氾濫による被害から、現在は水位観測データと現場の目視、気象台情報など総合して判断し市民が安心して浸水前の避難行動がとれるよう対策している。



過去に氾濫のあった長流川

**質問**▼洪水ハザードマップと防災対策を問う。

**答弁**▼洪水ハザードマップは全戸配布し、転入者にも配布しているが、8年経つてその基準が想定し得る最大規模の降雨による河川氾濫を想定するなど避難経路などの見直しを進めていく。





無会派 阿戸孝之

**質問**▼大滝区三階滝公園エリアの活性化について、大滝の名の由来にもなっている三階滝を中心とした公園エリアの今後の活用策を問う。

**答弁**▼今後とも公園として維持するとともに、キャンプ地としての利用も含め、大滝の魅力の一つでもある自然を生かした活用策を検討していく。

**質問**▼伊達市内の保育所の待機児童の解消と大滝区の保育所の維持のためにも子育て世代の大滝区への移住定住の促進を図るべきと考えるが、考えを問う。

**答弁**▼現在整備中の定住促進住宅の活用や、事業者に向けて働きかけるなど、保育所、小学校、中学校の存続のための施策を考えていき



三階滝公園

**質問**▼糖尿病の治療、予防の為に、低糖質食事療法を啓発する考えはあるか問う。

**答弁**▼低糖質食事療法を推進する考えはない。国が定めた食事療法を中心に啓発活動に努めていく。



たい。



青雲 洞口雅章

**質問**▼自転車は、子どもから高齢者まで幅広く普及している身近な乗り物だが、交通ルールの認識不足や運転マナーの欠如により歩行者の安全が脅かされている。国は昨年度に法を改正し罰則を厳しくした。自転車が多い当市としても全市挙げての対策と自転車安全利用に関する条例制定について問う。

**答弁**▼現状の施策や事業を点検し、行政・教育機関・安全協会や地域諸団体と連携し、自転車の安全利用促進を進めていく。現時点での条例制定は考えていない。

**質問**▼次世代への経済的負担や少子高齢化で墓を維持することの不安や、宗教観の変化等により合葬式墓所の需要が全国的に高まっている。

伊達市民からも市営の合葬式墓



自転車の並走は法律違反

所の要望の声を多数聞くが、市としての考えを問う。

**答弁**▼伊達市霊園使用者にアンケート調査を実施したが、維持管理していく上で不安を感じていないとの回答が8割を占めた。今後も市民意識調査を継続して行い、宗教関係者とも協議をしていく。



**質問**▼平成29年度4月から市内小中全校で導入するとしているコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置する学校）導入後の評価・検証のあり方を問う。

**答弁**▼運営協議会の開催ごとに議事録をホームページで公開するとともに検証していく考えだ。

**質問**▼生活支援総合事業移行への準備状況について問う。

**答弁**▼サービス事業者への聞き取り調査等を行ってきた。今後は事業所の人員、設備、運営基準及びサービス単価の設定、利用者への説明や市民への周知に取り組んでいく。

**質問**▼合併10年を経た大滝区との一体化は、いまだ道半ばと感ずる。今後の一体化の醸成に向けた基



他市でのコミュニティ・スクールの取り組み

本的考えと取り組みを問う。

**答弁**▼各種スポーツイベント開催による交流人口の増や豊かな自然などの強みを活かした街づくりを進める。

**質問**▼胃がんの予防にもつながるピロリ菌検査について、中学2年生を対象に実施することはできないか、がん教育を小中学校へ広げていく事はできないか問う。

**答弁**▼ピロリ菌検査については予防効果を考えると検査時期は、なるべく早期であることが望ましい一方、治療にはある程度身体的に成熟していることが必要。

近隣の市町の実施状況も踏まえて総合的に勘案し、中学2年生での実施に向け、関係機関との協議を進める。

がん教育は今年度は2校の中学でがん出前講座を行う。全小中学校で保健体育の授業でピロリ菌も含め、がん教育について取り組む。

**質問**▼空き家対策について問う。



**答弁**▼危険家屋の市民窓口及び市の対応は建設部都市住宅課、今年度中に策定する予定の「空家等対策計画」に、適切な管理や活用を促進、庁内の関係部署と連携を図り取り組む。